

授業科目

スポーツファイナンス

担当教員名 山本 悦史	対象学年	4	対象学科	スポ
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	○		○	◎

授業の概要

スポーツ組織の活動に必要な資金を外部から調達し、それらの資金を効果的にやり繰りしながら、短期的・長期的な収支のバランスをとっていく。今日においては、スポーツを取り巻くお金の流れを理解し、これらの知識を自由に使いこなすことが、スポーツの経済的・社会的価値を最大化させていくための必須条件として認識されるようになりつつあります。本授業では、財務会計の基礎知識やプロセスについて学習するとともに、これらをスポーツ組織の経営分析に活用していくための基本的な考え方について学びます。

授業の目的

1. 財務会計の観点からスポーツ組織の経営分析を行うことができるようになる。
2. スポーツ組織の運営に必要な「資金調達」「資金運用」「財務管理」の基礎知識を身につける。

学習目標

1. 財務諸表（貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書等）が的確に読み取れるようになる。
2. 一般企業におけるファイナンスとスポーツ組織に固有のファイナンスの間に見出される共通点および相違点について、具体的な事例を用いて説明することができるようになる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	スポーツファイナンスとは (スポーツを取り巻くお金の流れ、本講義で取り扱う内容、評価方法)	講義	山本 悦史
2	財務諸表の構成と基本概念 (法人格の類型、財務諸表の構成と相互関係)	講義	山本 悦史
3	スポーツ組織の収入構成と収入特性 (一般事業会社との比較、スポンサー収入、放映権料、移籍金)	講義	山本 悦史
4	事業計画と予算 (収支計画の策定プロセス)	講義	山本 悦史
5	資金調達 (債務者としてのスポーツ組織の特性、資金調達手法の類型、資金供給者の類型、担保と信用保証)	講義	山本 悦史
6	キャッシュフロー・マネジメント (スポーツ組織のキャッシュフローの特性、月次計画の重要性)	講義	山本 悦史
7	財務管理 (管理会計、特別会計、予実管理)	講義	山本 悦史
8	中間まとめ	講義	山本 悦史
9	資本と資本政策 (資本金と純資産、株式の種類、資本政策、株式の上場)	講義	山本 悦史
10	決算と情報開示 (決算の資料構成と承認、情報開示の方法と対象)	講義	山本 悦史
11	財務リスクのマネジメント (財務リスクの類型と影響、リスクマネジメント)	講義	山本 悦史
12	中長期のファイナンス計画 (中長期事業計画とファイナンスの連動、中期的な財務健全性の判断基準と確保)	講義	山本 悦史
13	パブリックファイナンス (財政とスポーツとの関係とその変化、PFIによる施設整備、指定管理者制度)	講義	山本 悦史
14	無体財産とファイナンス (スポーツに関わる無体財産、権利ビジネス、ネーミングライツ)	講義	山本 悦史

15	全体まとめ	講義	山本 悦史
----	-------	----	-------

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	スポーツファイナンス	武藤泰明	大修館書店	2008年	1,800円+税	
	スポーツの資金と財務	武藤泰明	大修館書店	2014年	2,700円+税	
	MBAのための財務会計-基礎からIFRSまで-(三訂版)	小樽商科大学ビジネススクール	同文館出版	2014年	2,700円+税	
その他の資料						

評価方法

1. 検証テスト (70%)

授業期間中に学修到達度を確認する検証テストを2~3回程度実施します。

検証テストの日程や出題範囲等については事前に周知を行います。

2. 授業中の取り組み (30%)

日常的な受講態度に加え、授業中に実施する課題の提出状況および内容を踏まえて評価を行います。

3. 自学自習 (加点)

授業時間外に行った自学自習 (予習・復習等) の成果について、その分量および内容を踏まえて通常評価に加点します。

履修上の留意点

本授業で学ぶ内容を確実に身につけ、現場での実践に耐えうるものにしていくために、可能な範囲において予習・復習を行っていくことをおすすめします。

オフィスアワー・連絡先

毎週火曜日 12:10-13:10 etsushi-yamamoto@nuhw.ac.jp

※上記以外の時間でも事前にメール等でご連絡をいただければ対応します。